※令和４年度以降入学生用

学校番号	219

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校　「精選　古典探究」　（第一学習社）						
副教材等	古文単語　覚えるぞ　３２１（尚文出版） カラー版　新国語便覧（第一学習社）及び　準拠ワーク テーマ別　古典ベストクリア１（尚文出版） 基点◎国語ゼミⅡ（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「言語文化」から引き続き、日本と中国の古典文学作品をより深く読み解いていきます。１年の時に習った古典文法などを用いて、自分で古典文学に触れ、様々な時代の考え方、感じ方を学びます。予習・復習を軸に主体的に学ぶ姿勢を大切にしましょう。

2　学習の到達目標

古文・漢文の読解を通して日本の伝統的な言語文化を理解し、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識・技能と豊かな感性や思考・判断・表現の力を伸ばすとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的 確に捉えること。 文章の種類を踏まえて，古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えること。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり，思いや考えを広げたり深めたりしながら，言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに，進んで古典に親しみ，言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期・二学期	説話 ［教材］歌ゆゑに命を失ふ事（沙石集）	a：主に助動詞に関して、文語のきまりへの理解を深める。 b：「読」説話という文章の種類に注意して、展開や内容を的確に捉える。 c：助動詞「き」「けり」の意味を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明したりしようとしている。	記述の点検 定期考査 小テスト	記述の点検 定期考査	記述の点検
	歌物語 ［教材］初冠（伊勢物語）	a：・歌物語の特徴について理解を深める。 b：「読」物語の中で和歌が果たしている役割を押さえながら、場面と登場人物の心情とを読み味わう。 c：学習の見通しを持って歌物語を読み、文章の中で和歌が重要な役割を果たす歌物語の特徴について、理解を深めようとしている。	記述の点検 定期考査 小テスト	記述の点検 定期考査	記述の点検
	随筆 ［教材］世に語り伝ふること（徒然草）	a：我が国の文化の特質について理解を深める。 b：「読」さまざまな文体を駆使した随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 c：作品に表れた無常観を読み取り、学習課題に沿って、我が国の中世的なものの見方、考え方に対して理解を深めようとしている。	記述の点検 定期考査 小テスト	記述の点検 定期考査	記述の点検
	歴史物語 ［教材］弓争ひ（大鏡）	a：主として敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。 b：「読」歴史物語という、実際の歴史に取材した物語を読み、宮中を中心とする権力者たちの姿の一端に触れる。 c：内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解して、説明しようとしている。	記述の点検 定期考査 小テスト	記述の点検 定期考査	記述の点検
	軍記物語 ［教材］能登殿の最期（平家物語）	a：古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 b：「読」軍記物語を読んで、登場人物の行動と、それを支える思想や歴史的背景を理解し、考えを深める。 c： 文体の歴史的背景をふまえて『平家物語』を読み、学習の見通しをもって、和漢混淆文の特色について理解を深めようとしている。	記述の点検 定期考査 小テスト	記述の点検 定期考査	記述の点検
	故事 ［教材］呉越同舟	a：訓読のきまりについて理解を深める。 b：「読」現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。 c： 故事成語の意味を進んで調査するとともに、その由来となった話を読んで、わかった内容を説明しようとしている。	記述の点検 定期考査 小テスト	記述の点検 定期考査	記述の点検

※令和４年度以降入学生用

	歌物語 ［教材］姨捨（大和物語）	a ：歌物語の特徴について理解を深める。 b ：「読」和歌のよまれた事情を語る、散文性や叙事性の強い歌物語を読んで、古典の世界の多様性を知る。 c ：学習の見通しをもって歌物語を読み、和歌のよまれた事情が記述された歌物語の特徴について、理解を深めようとしている。	記述の点検 定期考査 小テスト	記述の点検 定期考査	記述の点検
	和歌・歌謡・俳諧 ［教材］万葉集	a ：和歌の修辞などの表現の特色について理解を深める。 b ：「読」わが国の伝統文化の一つである和歌の表現の特色を理解し、黎明期の和歌を鑑賞する。 c ：題詞や歌の背景を参考にしながら作品に表れている情景や心情を読み取り、和歌を積極的に鑑賞しようとしている。	記述の点検 定期考査 小テスト	記述の点検 定期考査	記述の点検
三学期	物語 ［教材］光る君誕生（源氏物語）	a ：主として敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。 b ：「読」長編物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 c ：今までの学習を生かして長編物語をよみ、人物造形・心理描写・和歌の役割などに注意しながら、積極的に内容を捉えようとしている。	記述の点検 定期考査 小テスト	記述の点検 定期考査	記述の点検
	日記文学 ［教材］うつろひたる菊（蜻蛉日記）	a ：語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b ：「読」女性による日記文学の先駆となった作品を読んで、自己の内面を赤裸々に書き綴った心情描写に触れる。 c ：日記文学である『蜻蛉日記』を心情描写に注意しながら読み、積極的に自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。	記述の点検 定期考査 小テスト	記述の点検 定期考査	記述の点検
	史伝 ［教材］四面楚歌（史記）	a ：史伝を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 b ：「読」追い詰められていく項王の心境を読み取り、人間の生き方についての考えを深める。 c ：「四面楚歌」に描かれた項王の人物像を説明しようとしている。	記述の点検 定期考査 小テスト	記述の点検 定期考査	記述の点検

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　６５～７５　）時間